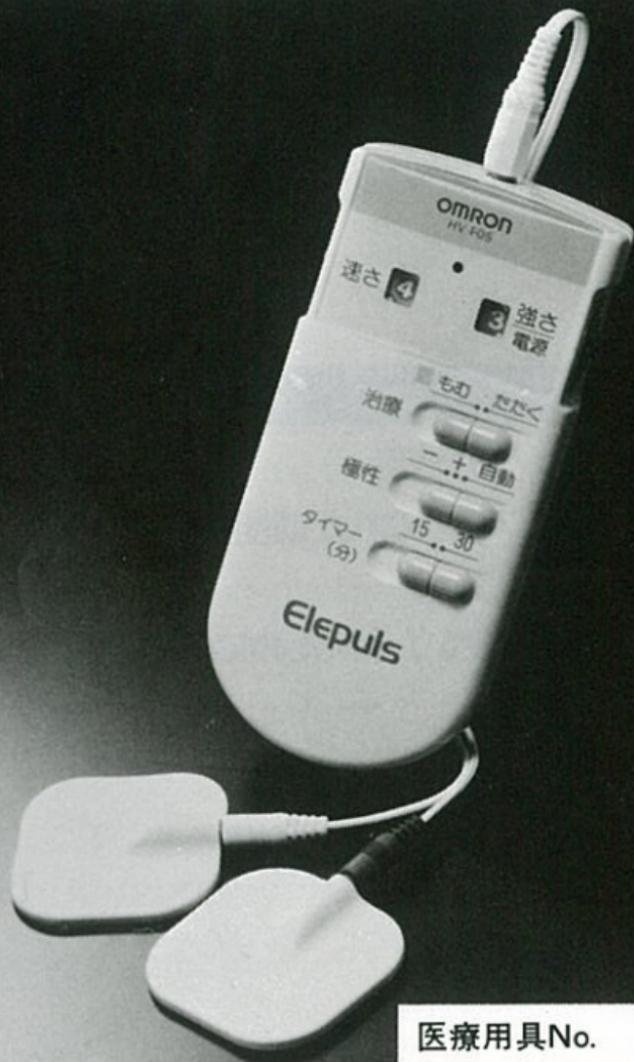


オムロン
低周波治療器

OMRON

エレパルス

HV-F05 取扱説明書 ●ご使用前に、必ずお読みください。



医療用具No. 1B1166

このたびは、低周波治療器エレパルスHV-F05をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。そして、正しく末永くご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、お読みいただきました後も、保証書とともに大切に保存しておいてください。

目次

- エレパルスの特長……………1
- エレパルスのすぐれた効果効果……………1
- 各部の名称……………2・3
- 正しくご使用いただくために……………4～6
- 正しい使い方……………7～16
- 修理に出す前に……………17
- 主な仕様……………18
- 低周波治療について……………19・20
- 品質保証書

エレパルスの特長

- マッサージや指圧に近い使用感が得られます。
- 連続刺激と断続刺激がスイッチひとつで切換えられます。
- 刺激を右↔左へスイッチひとつで切換えられます。又、自動的に刺激を交互に切換える自動切換もついています。
- 治療時間を自動的に設定できるタイマー切換スイッチ(15/30分)がついています。
- 軽量コンパクトですから旅行などにも手軽に持ってゆけます。
- 粘着パッド付導子により患部へ簡単に固定できます。

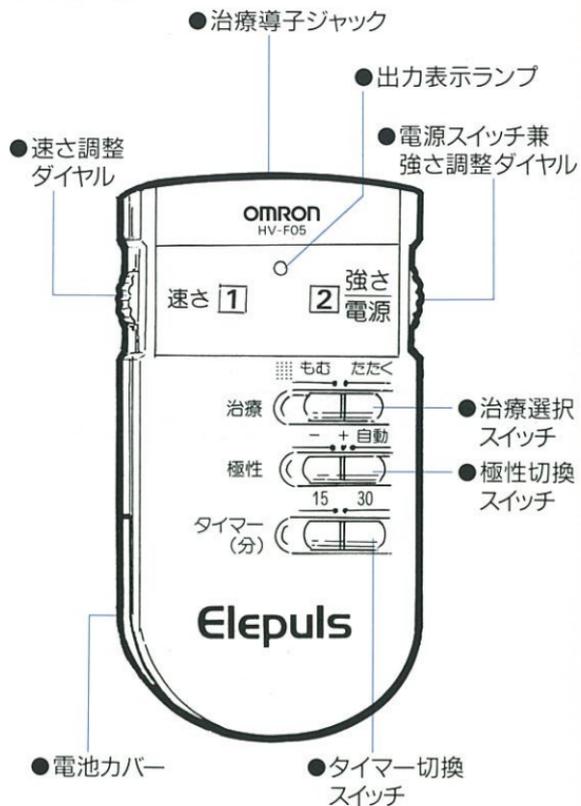
エレパルスのすぐれた効果効果

- 肩こり
- マッサージ効果：疲労回復、血行促進、筋肉痛、神経痛の痛みの緩解
- 末梢神経麻痺



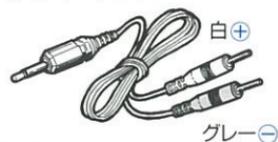
各部の名称

本体



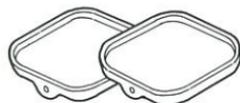
導子

導子コード1本



〈極性切換スイッチを ⊕ にした場合〉

導子電極2個



粘着パッド



粘着パッド2枚

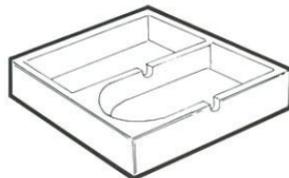
付属品



収納袋



乾電池006P型1個



発泡ケース1個



導子収納具1個

正しくご使用いただくために

次のような場合はご使用をさけてください。

低周波治療を、ひと口に説明しますと、ごく弱い特殊な電流を人体の患部に軽く流し、その生理的な作用により治療をすすめる物理療法です。

下記のような疾病の方、症状のあるときは、エレクトロパルスによる低周波治療をしないでください。

なお、心臓部へ電極(導子)をあてることはさけてください。

- 心臓疾患
- 心臓ペースメーカーをご使用の方
- 38°C以上の有熱性疾患
- 血圧の異常者
- 急性疾患
- 伝染性疾患
- 生理時、妊娠時、産後
- 入浴や発汗などで身体が濡れているとき
- 小児の頭部
- 結核性の病気
- 悪性の腫瘍
- 切キズ、皮膚病の部位
- 貧血



ご使用上の注意

全身が水で濡れているとき、入浴中のとき、湯上がり時で全身をふかない状態のときは、本器を絶対に使用しないでください。



口中および陰部などに導子を用いないでください。



幼児やご自分で意志表示ができない方へのご使用はさけてください。



電源を入れたまま、治療部位を移動したり、他の人に導子をあてないでください。



時計の金属バンドやネックレスなど、金属性のものに導子を触れさせないでください。



故障を防ぐために

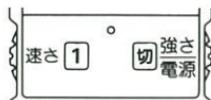
本体からプラグを抜くときは、コードを引っばらず、プラグをもって抜いてください。



本体を分解したり、高いところから落としたり振動を与えたりしないでください。



使用後は必ず電源を切ってください。



1. 乾電池の入れ方

図のように電池カバーを矢印の方向に軽く押して、カバーを開けてください。

(本器の電池収納場所は本体の裏側です。使用乾電池は9Vの006P型1個です。)



＋、－の極性をまちがえないように電池を差し込んでください。



電池カバーをスライドさせながら、確実にしめてください。



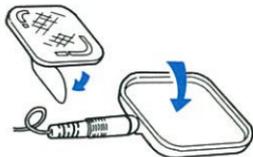
※電池が消耗して、新しいものに交換される場合は9V・006P型の乾電池をお求めください。

2. 粘着パッドを導子電極に貼り、患部に固定します。

導子電極を導子コードに取付けます。



袋から粘着パッドを取り出し片側のフィルムをはがし導子電極の黒い面に貼付けます。

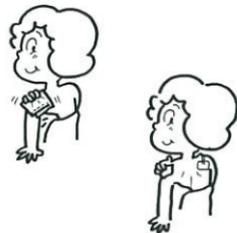


反対側のフィルムをはがします。これで粘着パッド付導子の準備は完了です。



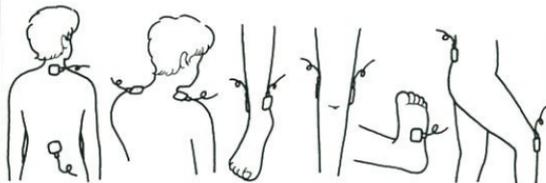
患部肌をぬれたタオルなどでふき、油分、化粧品、汚れなどを取ります。

※粘着パッドの表面に油分などの汚れが付くと粘着力が低下し、使用できる回数が減少します。



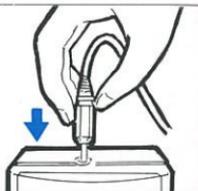
患部に粘着パッド付導子を貼り固定します。

※+、-両方の導子を貼らないと治療できません。



3. 治療を行ないます。

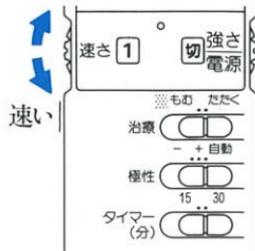
プラグを本体に接続します。導子コードのプラグを本体の治療導子ジャックに差し込んでください。



治療選択を行ないます。治療選択スイッチを操作して、たたく、もむのいずれかにセットし、速さ調整ダイヤルを1の治療位置にあわせてください。

※治療の種類によっては刺激が強く感じることがありますので、治療途中で治療選択スイッチを操作するときは、必ず一度強さ調整ダイヤルと速さ調整ダイヤルを1に戻してから行なってください。

遅い



速い

タイマーをセットします。タイマーを15分または30分のどちらかにします。

タイマースイッチにより、15分と30分の2段階に切換可能です。タイマー終了後は、必ず電源スイッチ兼強さ調整ダイヤルを「切」にしてください。

電源を入れ、強さを調整します。電源スイッチ兼強さ調整ダイヤルをまわして電源を入れ、強さ調整ダイヤルを徐々にまわして適度な刺激のところまで止めます。

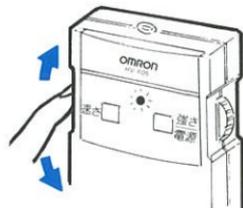
※刺激を感じはじめる電圧は、人によって、患部によって異なりますが、強すぎる刺激は好ましくありません。



刺激のスピードを調整します。速さ調整ダイヤルを回してお好みのリズム、スピードにあわせてください。

注)もむを使用する場合は速さ調整ダイヤルは4以上でご使用ください。

電源が入ると出力表示ランプが点滅しはじめます。本体の赤い出力表示ランプは、刺激の速さと、一致して点滅します。



4. 刺激は左右に変えられます。

導子には⊕と⊖の極性があり、⊕側は興奮作用、⊖側は鎮静作用があります。たとえば右肩に⊕側、左側に⊖側の導子をあてた場合、導子を取りはずして⊕⊖をつけ替えることなく、極性切換スイッチで⊕から⊖へ、また⊖から⊕へと極性が転換できます。又、(自動)側にするると導子の⊕⊖極性が約7秒おきに自動的に反転します。

※極性切換スイッチが⊕側にセットされている場合、導子コードと導子のつながりが白い方が⊕極、グレーの方が⊖極です。切換スイッチを⊖に入れた場合は導子の⊕⊖極性は逆になります。



5. 1日に1~3回、1日合計30分まで。

治療回数や時間は症状により異なりますが回数は1日3回までに、なれないうちは1回の治療時間は3分くらいに、なれてくると10分前後。どんなに長くても1日合計30分までしてください。



※治療効果には個人差があり、効果がなかなか顕著にならないことがあります。また人によっては導子をあてた皮膚の一部に軽い炎症をおこす場合があります。これらの場合は医師にご相談ください。

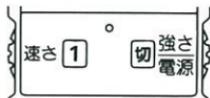
正しい使い方

6. 治療が終わったら電源を切ります。

タイマーを使用した場合でも必ず電源スイッチ兼強さ調整ダイヤルを「切」にします。

切り忘れたまま放置されますと電池の消耗を早めます。

(注)他の部位または別の人を治療する場合、電源を入れたまま、導子を移動して他の部位を治療したり、別の人に治療しないでください。その場合は必ずいったん電源を切って、10頁の正しい使い方<3>からはじめてください。



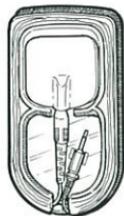
7. 導子の収納

粘着パッド付導子は、ご使用後かならず、導子収納具にはって収納してください。

※粘着パッドが乾燥すると使えなくなります。

※粘着パッドは消耗品です。

(つきにくくなった場合、新しいパッドと交換してください。)



8. 導子のお手入れと保管の仕方。

粘着パッドは使用后、ぬれた布(ガーゼ、ふきんなど毛ばたかない布)などで軽く汚れをとり収納具に貼りつけてください。



さらに、導子コードを導子収納具に巻きつけプラグの先端を所定の位置にセットしてください。



粘着パッドが乾燥すると粘着力が低下したり、皮膚がチクチクすることがあります。その場合は1~2滴の水で表面を湿らせると一時的に粘着力を回復させることができます。ただし、水分を与えすぎると粘着力が低下します。



粘着パッドは消耗品です。つきが悪くなった場合は新しいパッドと交換してください。

※別売粘着パッド・4組入(8枚)



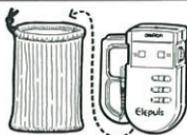
9. 本体の清掃

本体、導子などは、次回の使用に支障のないよう清潔にしておいてください。
 ※乾いたやわらかい布でよごれをふき取りませ、シンナーや、ベンジンなど揮発性の液体や濡れた雑布などは使用しないでください。

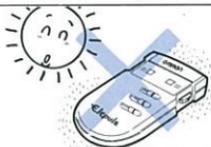


10. 保管

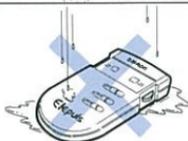
付属の収納袋に、本体・導子を入れて保管してください。



湿気や温度の高いところ、直射日光のあたるところ、塩分やイオン分などを含んだ空気のところ、に放置しないでください。



お子さまの手のとどかないところ、水のかからないところに保管してください。



長時間ご使用にならないときは、本体から乾電池をはずしておいてください。



不審な点、故障の場合は、内部機構をさわらずに、お買上げの販売店に遠慮なくご相談ください。なお、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、つぎの点をお確かめください。

症 状	チェックおよび対策
刺激が弱い 刺激が感じられない	1. 電池が消耗していませんか？ →新しいものに交換してください。 2. 電池が正しく接続されていますか？ →この説明書に従って接続しなおしてください。 3. プラグとジャックは正しく接続されていますか？ →接続しなおしてください。
肌が赤くなる チクチクと痛い	1. 導子は体にしっかり貼られていますか？ →貼りなおしてください。 2. 治療時間が長すぎませんか？ →1回10分前後におさえてください。
タイマー終了後 電源が入らない。	1. 故障ではありません。 →1度電源を切り、約3秒後、電源を入れてください。 (タイマーを再度スタートさせるために電源を切った状態で約3秒必要です。)

主な仕様

- 電源電圧…DC9V(乾電池006P型1個使用)
- 発振周波数…約1~50Hz 無段切換
- 消費電流…17mA(負荷抵抗:1kΩ)
- 電池寿命…連続通電で20時間以上
(速さ:5・強さ:5・たたく 負荷抵抗:1kΩ)
間歇通電で120日以上(1日15分間使用)
- 大きさ(本体)…63(W)×134(H)×23(D)mm
- 重量…約140g(本体:電池含む)
- 付属品…導子電極/2個、粘着パッド/2枚、
乾電池/006P型1個
導子収納具/1個
収納袋/1枚
取扱説明書/1部
導子コード/1本

※別売パッド・4組入(8枚) ¥2,000
(消費税は含まれておりません)



低周波治療について

生理作用をうまく利用する治療法

自分自身は気づきませんが、脳や心臓、筋肉や神経など、私たちの身体はいかなるところからもごく弱い電気を発生しています。

そして、外部から加えられた電気的な刺激にも敏感に反応しますし、いろいろ変化をおこす性質があります。人間の身体がもともと持っているこのような作用を上手に利用して、病気の治療を行なおうとするのが電子治療で、その中の代表的なひとつが低周波治療です。現代医学でも、こり・痛み・マヒなど、幅広い効果のあることが認められており、各地の病院や医院で数多くの患者さんに低周波治療が施されています。

低周波治療について

リズムカルなやさしい刺激の低周波

低周波というのは、一定のリズムで流れたり切れたり断続する特殊な電流です。低周波を上手に利用すると、トン・トン・トンとたいへんリズムカルなやさしい刺激を与えてくれます。

低周波のやさしい刺激は、押したり、もみほぐしたりするマッサージの効果があります。